

令和2年度科学の甲子園岩手県大会実施要項

1 趣旨

科学技術・理科・数学等における複数分野の競技を開催することにより、全国の科学好きな生徒等が集い、競い合い、活躍する場を構築し提供することで、科学好きの裾野を広げるとともに、トップ層を伸ばすことを目的に、国立研究開発法人科学技術振興機構が「第10回科学の甲子園全国大会」（以下、「全国大会」という。）を主催する。全国大会には各都道府県から一校（1チーム）の出場であるため、「令和2年度科学の甲子園岩手県大会」（以下、「県大会」という。）を開催する。

2 主催

岩手県教育委員会

3 協力

岩手県高等学校教育研究会理科部会

4 実施会場

岩手県立総合教育センター

5 実施日及び日程（予定）

令和2年10月17日（土）

時 間	実 施 項 目	備 考
9:30～ 9:45 (15)	受付	説明時間を含む
9:45～10:00 (15)	開会式及び諸連絡	
10:10～11:15 (65)	筆記競技	
11:25～12:05 (40)	実技競技①	
12:05～12:50 (45)	昼食	説明時間を含む
12:50～14:00 (70)	実技競技②	
14:10～15:10 (60)	講演 (後片付け・表彰準備)	
15:15～15:40 (25)	表彰式・アンケート記入	

6 チーム編成

各校1チームとし、高校1、2学年の生徒（中等教育学校後期課程及び高等専門学校にあっては同年次の生徒または学生）6～8人で構成する。

（全国大会出場の場合、メンバーを入れ替えることは妨げないものとする。）

7 競技の種類

大会競技は筆記競技と実技競技からなる。

（1）筆記競技

理科、数学、情報の中から、習得した知識をもとにその活用について問う問題で競うものとする。
なお、教科・科目の枠を超えた融合的な問題も出題され得る。

（2）実技競技（2競技を行う予定）

理科、数学、情報に関わる実験、実習、考察等、及び科学技術を総合的に活用して、ものづくりの能力、コミュニケーション能力等により課題を解決する力を競うものとする。

8 競技形式

筆記競技、実技競技ともに、各出場チームが競技ごとに定められた複数人からなる競技チームを構成し、当該競技チームが問題等を分担、相談するなど協働して成果を創出し、その成果を競い合う形式のものとする。

9 表彰等

- (1) 主催者が定めた審査委員が、各競技の成績点数の合計によって順位を決める。
- (2) 表彰は上位3チームとする。
- (3) 優勝チームには、令和3年3月19日（金）～22日（月）に茨城県つくば市で開催される全国大会の出場権が与えられる。

10 費用負担

県大会に参加する諸費用は各学校が負担するものとする。

11 参加申込み

令和2年度科学の甲子園岩手県大会参加申込書〔別紙様式〕に必要事項を記入し、令和2年9月18日（金）までに、下記担当あて電子メールで申し込むこと。

12 競技上の注意

- (1) 競技によって、メンバーを入れ替えることも可能であること。ただし、参加申込みメンバーに限る。
- (2) メンバー同士で話し合って解答して構わないこと。また、一人当たりの解答数などの決まりはないので、作戦を立てて取り組んでよいこと。

13 その他

- (1) 新型コロナウイルス感染症の感染防止対策としてマスクの着用や3つの密を可能な限り避けるなど対策をとりながら実施する。
- (2) 競技に関する詳細については、参加申込校を集約した後、別途連絡するものであること。
- (3) 交通手段は各校で手配すること。
- (4) 連絡先

岩手県教育委員会事務局 学校教育課

担 当：砂沢 剛

T E L：(019)629-6141

F A X：(019)629-6144

E-mail：t-sunasawa@pref.iwate.jp